

一般質問 (要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は16ページをご覧ください。

れいめい 池田 憲彦 議員

鈴鹿のこれからの教育について

(質問) 教育長の就任に当たって、教育長としてのビジョンと、本市の教育の課題に対してどのように改善に取り組んでいくのか。

(答弁) 人権教育と特別支援教育を基盤として、児童生徒が集団の中で安心して過ごせるような、教師と児童生徒、児童生徒相互の好ましい人間関係を築き、市内の学校を誰もが安心できる居場所にしたい。考える力、行動する力を身に付けた子どもの育成に努め、重点的な取り組みとして、学力向上、長期欠席対策、ICT活用の3点を大切にしていく。

その他の質問 ○小規模農家への支援



公明党 藤浪 清司 議員

市内経済の現状と支援について

(質問) 新型コロナ変異株の猛威により、市内経済への影響もより深刻化する恐れがある。市内企業、個人事業主を支えるため、新たな支援策を講じる必要があるがいかがか。

(答弁) 7月臨時議会で議決された事業継続サポート給付金(対象業種拡大分)、地域資源活用支援事業、農業支援策を推進するなど、アフターコロナを見据えた経営基盤の強化につながる支援を行うことにより、事業継続および本市の経済回復に努めていく。

その他の質問 ○コロナ禍における働き方改革 ○心のケア



市民の声 中西 大輔 議員

若年層へのワクチン接種について

(質問) 20歳以下への接種体制、かかりつけ医など地域医療への配慮、若年層への接種に関連する情報提供の手法、接種に慎重な人への配慮はどう考えているのか。

(答弁) 医療機関での個別接種と、集団接種の2本立てで考えている。市ホームページやフェイスブックなどのSNSを使い、若い世代の判断につながる情報を発信することを考えている。広報すずかななどで、接種を受けていない人が不当な扱いをされないよう情報を発信していく。

その他の質問 ○都市マスタープラン改定に向けて



市民クラブ 中村 浩 議員

子どもの医療費についてパート2

(質問) 四日市市、亀山市などは子ども医療費の助成に所得制限を設けていないが、本市についても所得制限を撤廃できないのか。

(答弁) 子ども医療費の助成を継続して実施していくためには、安定した財源が必要であることから、毎年、県に対して補助対象の見直しを要望している。今後も県への要望を継続しながら、現行の制度を維持し、適切な運営に努めていくとともに、所得制限の撤廃についても慎重に検討していく。

その他の質問 ○土地開発公社



れいめい 南条 雄士 議員

運動施設予約制度の改善を

(質問) 感染症対策と市民サービス向上の観点から、公共施設インターネット予約システムの整備を機に、運動施設に関して①並ばずに済む予約制度、②予約時期や使用料の市民優先制度、③使用料のキャッシュレス(現金を使わない)決済制度、の3点の導入を求める。

(答弁) ①使用日の直前の日まで予約ができるように制度を改善し、インターネット予約だけでなく、電話での仮予約も受け付ける。②市民先行予約を可能にし、市外料金も検討する。③予約システムの整備後、キャッシュレス決済導入に向け検討する。



市民クラブ 藪田 啓介 議員

行政情報の発信について

(質問) 新型コロナワクチン接種における若年層の副反応に関する公式な情報はどこにあるのか。本来、PCR検査陽性者は入院処置となっているが激増する自宅待機者と自宅療養者への対応はどうなっているのか。

(答弁) 接種における副反応の情報は8月16日に有益な情報を集めた鈴鹿市ワクチン接種情報のサイトに掲載しているのでワクチン接種判断の参考としてほしい。自宅療養者については8月の急激な感染拡大により増加しているが、県・保健所と情報共有し、迅速に市民へ情報発信していく。

